

一般項目	最大定格		端子間容量(pF)/容量比			備考	ピン接続図	
	項目	定格値	電圧(V)	最小	標準			最大
●1SV166 日電 用途: FM/VHF 帯チューニング用 特長: TV 受像機の VHF 用, ラジオ受信機の電子同調用として, 大きな容量変化比を有する。	V_R (V)	30	3	28.0		32.5	4本組, 端子間容量偏差 ΔC は3%以内。 $r_s \leq 0.6\Omega$	
	V_{RRM} (V)	30	10			5.8		
	P(mW)	250	25	4.9		5.8		
			3.0/25.0	5.0		6.5		
●1SV167 日電 用途: VHF 帯チューニング用 特長: 容量変化比が大きいので, VHF 帯の広い周波数範囲のカバーを要する CATV チューナに適する。	V_R (V)	30	3	26.0		32.0	4本組, 端子間容量偏差 ΔC は3%以内。 $r_s \leq 1.0\Omega$	
	V_{RRM} (V)	30	10			3.3		
	P(mW)	250	25	2.8		3.3		
			3.0/25.0	8.5	9.5	11.5		
●1SV169 日電 用途: VHF/UHF 帯チューニング用 特長: 容量変化比が大きい。 直列抵抗が小さい: $r_s = 0.35\Omega$ (標準)	V_R (V)	30	2	14.0		16.4	4本組, 端子間容量偏差 ΔC は3%以内。	
	V_{RRM} (V)	35	10			2.5		
			25	2.1		2.5		
			2.0/25.0	6.0				
●1SV183 日電 用途: UHF 帯チューニング用 特長: UHF 帯域の広い周波数範囲 (特に高域) の同調用で, 衛星放送受信機の VCO 用等に適する。	V_R (V)	28	2	3.2		4.0	Q=150 (最小)	
			10	0.8		0.7		
			20	0.6		0.7		
			2.0/20.0	4.3		6.9		
●1SV184 日電 用途: FM/VHF チューニング用 特長: 容量変化比が極めておおい。直接衛星放送屋内受信機の PLL 型 FM 復調器の VCO 用に適する。	V_R (V)	15	2	40.0	45.0	50.0	Q=100 (最小)	
			5	7.0	5.0	6.0		
			10	4.0	5.0	6.0		
			2.0/10.0	6.5				
●1SV186 東芝 用途: UHF/SHF 電子同調用 特長: 容量変化比が大きい。C-V カーブの直線性が高い 直列抵抗が小さい: $r_s = 1.2\Omega$ (標準)	V_R (V)	30	2	3.3		4.6	$V_R = 2 \sim 25V$ の範囲でペア組してある。包装は4本を最小数量とし, 4本の倍数で構成。	
	V_{RRM} (V)	35	10			0.8		
	T_j (°C)	125	25	0.7		0.8		
			2.0/25.0	4.5	5.2	6.0		
●1SV204 東芝 用途: TV VHF/UHF チューナ AFC 用	V_R (V)	30	2	10.5		16.0	$r_s \leq 1.2\Omega$	
	V_{RRM} (V)	35	5			5.7		
	T_j (°C)	125	10	3.3		5.7		
			2.0/10.0	2.5		3.4		
●1SV210 日電 用途: VHF/UHF 帯チューニング用, 直接衛星放送屋内受信機の VCO 用 特長: 最小容量が小さい。容量変可比が大きい。High Q	V_R (V)	28	2	3.0		3.9	直列抵抗 $r_s: 3\Omega$ (最大) $V_R = 2V, f = 470MHz$	
			10	1.0		0.8		
			20	0.6		0.8		
			2.0/20.0	4.0				